



あ や め



文責：生徒指導主事 川崎幸司

櫛形中生徒が躍動！ 県選手権大会&中巨摩総体・陸上総体

5月13日(土)のソフトボール部を皮切りに、県選手権大会が各種目それぞれスタートしました。各部ともに全力で試合に臨むことができました。なかでも弓道部は男子が団体2位、女子バスケットボール部は平成23年県選手権大会優勝以来の決勝進出(12年ぶり)と、大健闘をしました。他の部もそれぞれ成果と課題を見つけることのできた大会だったと思います。



続いて運動部における最大の目標である「総合体育大会」が、6月13日(火)15日(木)17日(土)に開催され、[陸上の部]も6月23日(木)に行われました。天候不順の日が続き、特に「陸上の部」は雨天のためタイムレース方式に変更されるなど、各部ともコンディショニングという点では調整がかなり厳しかったのではないのでしょうか。それでも、各競技で熱い戦いが繰り広げられました。特に3年生にとっては、中学校生活の多くの部分を占めてきた部活動に対する強い思いが込められた試合であり、どの部も最後まであきらめずに戦う姿に、胸が熱くなるものを感じました。試合は勝負の場なので、当然勝ち負けはつきものなのですが、勝って喜ぶ姿はもちろん、試合に敗れて涙ぐむ姿がとても印象的でした。それだけの強い思いと情熱を持って日々の活動に取り組んできたことを強く感じさせられました。大事なことは、チーム全員で日々の部活動において勝利を目指して努力してきた「過程」に意味があるということであり、生徒一人ひとりが部活動を続け、努力を重ねてきたという事実が最大の成果だと思えます。また、そのことの証として、大会の準備や片付けなどに櫛形中の生徒が率先して協力していたことに大きな感銘と感動を受けました。

3年間の部活動で、体力も競技の技術も向上したと思いますが、それ以上に「人」として、多くの困難を克服することで一回りも二回りも成長できたのではないかと思います。部活動を通して多くのことを学んできたことでしょう。目標を持って取り組むことの大切さやチームとして仲間と協力することの大切さ、また、一緒に汗を流してきた仲間の存在、陰で支えてくれた家族の存在、そして鎬(しのぎ)を削った他校の選手たち、大会運営に携わってくれた方々など、自分を取り巻く環境やすべての人に感謝の気持ちを持ってたら素晴らしいですね。



<中巨摩総合体育大会「野球の部」より> ↑

(個人戦は割愛しました)

県選手権大会

弓道部：男子2位
女子バスケットボール部：2位

中巨摩総体

陸上部：男子優勝(15連覇)
女子優勝(5連覇)
野球部：優勝
女子バスケットボール部：2位
ソフトボール部：2位
男子卓球部：団体3位
女子卓球部：団体4位
女子バレーボール部：4位
男子バスケットボール部：4位
女子ソフトテニス部：団体BCトーナメント3位

〈県選手権大会より〉



〈中巨摩総合体育大会 「陸上の部」より〉



山梨日日新聞で
「応援歌復活プロジェクト」
について、掲載してくれました。
6/7水・10土・14水

